

市民・観光客の憩いの場として かいばら一番館がオープン

6月2日、旧柏原支所庁舎を市民や観光客の憩いの場として開放する「かいばら一番館」がオープンしました。旧柏原支所庁舎の長期的な活用方法が決まるまで、当面の間は休憩や自習などのスペースとして誰でも利用することができます。

前柏原自治協議会長の西垣伸彌さんは「地域のシンボルとして、皆さんに愛される会館にしたい。今後のことは地域で相談していく」と話しました。



看板の除幕を行う関係者たち

保有米を寄贈してみんなで支えあおう 「お米 de つなぐ助け愛」



柏原福祉センターにお米を届ける地域のみなさん（左側）

新型コロナウイルス感染症の影響で生活に不安を抱える人を支援しようと、6月8日～13日の間、柏原地域支え合い推進会議が家庭に保有されているお米を集め、社会福祉協議会を通じて必要な人に配布する「お米 de つなぐ助け愛」プロジェクトを実施しました。

お米を寄贈した住民は「困っている人がいると聞いた。少しでも役に立てば嬉しい」と話しました。



上：初めての田植機操作はまっすぐに植えるのが難しい 下：新たまねぎの収穫実習

農の学校

【農の学校 2期生入学 編】

農の学校では、4月に市外から12人の2期生を迎え、農業実習や座学に取り組んでいます。開校2年目の今年は、新たな取り組みにも挑戦します。

1つ目は、今年から1人25mの個人区画を設け、栽培作物や作付け計画を自分で考え、栽培管理を実践できる環境を整えました。2つ目は、実際の農家の生活により近い形で農業を学ぶため、6月～8月まで、午前7時～午後1時30分に実習や講義を行うサマータイムを導入します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の講義はオンラインで行いましたが、2期生たちは1期生が植え付けした春野菜の収穫や出荷、田植機の操作などの学習に取り組んでいます。

1期生から2期生、そして3期生に農業の知識や環境を引き継げるよう、自然のサイクルや農業の流れを体感し、学んでほしいと思います。



Special thanks

新型コロナウイルス感染症対策のため、皆様から様々な物品の寄贈・寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

5月31日寄贈分まで掲載

○寄贈日

- ・物品名 / 数量
- ・寄贈者
- ・配布先 / 用途

○3月18日

- ・消毒ジェル 1,000 本
- ・(株) ピカソ美化学研究所様
- ・高齢者・障がい者施設訪問職員など



○3月23日

- ・次亜塩素酸水 160 箱
- ・(株) オーケンウォーター様
- ・市役所窓口カウンターなど



○4月20日

- ・マスク 15,000 枚
- ・市内事業所様
- ・アフタースクール、高齢者施設など



○4月20日

- ・マスク 3,000 枚
- ・たんば商業協同組合様
- ・認定こども園など



○4月27日

- ・マスク 3,000 枚
- ・(株) オオツキ様
- ・医療機関

○4月28日

- ・マスク 20,000 枚
- ・(株) 足立商事様
- ・医療機関



○4月28日

- ・マスク 2,000 枚
- ・(株) 西山様
- ・医療機関



○5月11日

- ・義援金
- ・ふるさと和田振興会・兵庫医療大学様
- ・感染症対策にかかる物品の購入費として活用

○5月13日

- ・マスク 1,000 枚、防護服 200 着
- ・(株) 下村製作所 (春日工場) 様
- ・医療機関など

○5月14日

- ・マスク 10,000 枚
- ・市内事業所様
- ・医療機関など



○5月18日

- ・丹波森の恵みカレー 240 食
- ・(株) 丹波姫もみじ様
- ・社会福祉協議会を通じて、市内各所に配布

○5月19日

- ・防護用ガウン 200 着
- ・(有) カンナンファーム様
- ・医療機関など



○5月19日

- ・光触媒抗菌・防臭コーティングスプレー「keskin」
- ・(株) 石坪様
- ・市役所窓口など



○5月20日

- ・マスク 2,000 枚
- ・中兵庫信用金庫様
- ・消防本部 (救急隊員) で使用



○5月26日

- ・マスク 400 枚
- ・たから弥 丹波本店様
- ・学校



○5月28日

- ・マスク 8,000 枚
- ・足立一光様
- ・学校・青垣診療所など



このほかにもマスクなどを寄贈いただきました。ありがとうございました。

